

(2) 法人タクシーの転覆事故

令和5年11月4日（土）午後4時00分頃、東京都台東区都道において、東京都に営業所を置く法人タクシーが乗客3名を乗せて運行中、道路左側の歩道上にある花壇に衝突し、車体右側を下にして横転した。

この事故により、当該運転者が軽傷を負った。

(3) 法人タクシーの転覆事故

令和5年11月5日（日）午前5時50分頃、愛知県知立市の県道において、同県に営業所を置く法人タクシーが回送運行中、交差点を左折しようとしたところ、後続車に追突され転覆した。

この事故により、当該法人タクシー運転者と追突した自動車の運転者が軽傷を負った。

(4) 法人タクシーの衝突事故

令和5年11月8日（水）午後6時15分頃、京都市の市道において、京都府に営業所を置く法人タクシーが乗客2名を乗せて運行中、交差点を右折時に、対向車線の第3車線を直進してきたオートバイと衝突した。信号は双方とも青信号であった。

この事故により、当該オートバイ運転者が死亡、乗客1名が軽傷を負った。

(5) 個人タクシーの転落事故

令和5年11月4日（土）午後3時57分頃、長崎県佐世保市において、同県に営業所を置く個人タクシーが乗客1名を乗せて運行中、乗客を降ろすために停車した後、乗客が降りる前にアクセルを踏み込み道路脇の川に転落した。

この事故により、当該運転者が死亡、乗客が重傷を負った。

(6) 特定バスの車内事故

令和5年11月9日（木）午前7時54分頃、東京都豊島区の都道において、東京都に営業所を置く特定バスが乗客33名を乗せ運行中、交差点において青信号に変わり発進したところ、通路に立っていた乗客が後方へ転倒した。

この事故により、当該乗客が重傷を負った。

上記6件の死傷者数計：死亡2名、重傷2名、軽傷4名（速報値）



2. トピック

(1) 貸切バスの安全性向上に向けた対策のための制度改正を行いました。

(配信日 : R5. 10. 13)

国土交通省では、令和4年10月に静岡県で発生した貸切バスの横転事故（死傷者計29名）を踏まえ、二度と同様の悲惨な事故を発生させないよう、貸切バスの安全性向上に向けた新たな対策を検討してまいりました。

今般、本対策を制度化するため、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）の改正等を行いました。

○新制度の概要

- ・ 輸送の安全に係る書面及び記録の保存期間の延長等
- ・ 録音及び録画による点呼記録の保存の義務付け
- ・ アルコール検知器使用時の写真撮影の義務付け
- ・ デジタル式運行記録計の使用の義務付け
- ・ 安全取組の公表内容の拡充

○改正内容等の詳細は、下記の国土交通省Webページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000152.html

(2) 冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！

(配信日 : R5. 10. 6)

大型車の冬用タイヤへの交換時期に車輪の脱落事故が急増する傾向を踏まえ、タイヤ脱着時の確実な作業の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施しております。

主な取組として、適切なタイヤ脱着作業や保守管理の重要性について周知・啓発のほか、通常の降雪時期を待たず早期に冬用タイヤに交換するなど、余裕を持って正しい脱着作業を行えるべく、冬用タイヤ交換作業の平準化を推進します。

また、更なる車輪脱落事故防止対策として、10月1日より、自動車運送事業者及び整備管理者に対する行政処分を導入しました。

○車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者に対する車両の使用停止（初違反 20日車、再違反 40日車）

○一定期間に複数回の車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者等に対し整備管理者の解任命令

【国土交通省プレスリリース】

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000308.html

【適切なタイヤ脱着作業手順（MLIT channel）】

https://youtu.be/Szz2ZF7Gd_4?si=xhWiLEnQQcVEA00c

(3) 事業用自動車事故調査報告書を公表しました。

(配信日：R5.9.29)

今般、下記の調査事案について、報告書が議決されたことを受け、当該報告書を公表しました。

記

○ 重要調査対象事故

- ・大型トラックの追突事故（山梨県甲州市）

国土交通省ホームページ

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000597.html

※対象事故について

重要調査：特別重要調査対象事故以外の事故であって、事故調査委員会による要因分析及び再発防止策の提言が必要なもの

(参考)

特別重要調査：社会的影響が大きく、事故調査委員会による特別な調査、要因分析及び再発防止策の提言が必要なもの

※過去の報告書は、以下の国土交通省ホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/jikochousa/report1.html>

(4) 事故防止対策支援推進事業に係る補助金の申請受付を受付中

～バス、タクシー、トラック運送事業者等の交通事故防止のための先進的な取組等を支援～

(配信日：R5.8.18)

国土交通省では、自動車運送事業における交通事故防止の観点から、先進安全自動車（ASV）や運行管理の高度化に資する機器の導入等の取組を支援す

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html> ）

* ご登録されたメールアドレスの変更は、配信登録を解除していただき、新たに配信登録をお願いします。

配信登録を解除する場合は、以下のアドレスで登録解除することができます。

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/stop.html> ）

【参考】

* 物流・自動車局ホームページ

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）

* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ホームページ受付

（ <https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html> ）

・フリーダイヤル 0120-744-960（年中無休・24時間）

（オペレータ受付時間 平日9:30～12:00 13:00～17:30）

* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

